

スマートグラスで高齢者の買い物支援に向けた実証実験

古賀市の小野地区で、デジタル技術を活用し、遠隔で高齢者の買い物支援の実証を行います。市内でも特に買い物や移動に課題を抱える高齢者が多いことが見込まれる小野地区内の2つの施設で、スマートグラス等を活用した実証実験を行います。

■目的

小野地区は、古賀市の東部に位置する自然豊かな地域ですが、「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画」によると市内で地域住民の公共交通の利用割合が最も低く、また日常的な買い物が困難と答えた割合が市内で最も高く、地域活性化のために住民の利便性の向上が重要と考えられています。

そこで、スマートアグリビレッジおの推進協議会(事務局:古賀市役所農林振興課)では、農林水産省の中山間地農業ルネッサンス推進事業(元気な地域創出モデル支援)を活用し、NTTコミュニケーションズ株式会社の協力を受け、小野地区においてスマート農業の推進やデジタル技術を活用した生活支援に取り組んでいます。

今回は、生活支援の一環としてスマートグラスを使った高齢者等の遠隔買い物支援の実証に取り組みます。

■スマートグラスを使った実証方法

スマートグラスは眼鏡のように装着して利用でき、ハンズフリーで作業を邪魔せずに、見ている映像を遠隔地に送ることができます。今回の実証は、農産物直売所コスモス広場と小野地区の施設をつなぎ、参加者は、「スマートグラス」をかけたスタッフに購入したい商品を伝え、モニターに映し出された映像で商品を確認し、スタッフにお勧めの商品を説明してもらうなど、会話をしながら買い物を行います。

※イメージ



■実施スケジュール

日時：2月20日（火）14時～

場所：有料老人ホームこはる茶屋（古賀市米多比 555-1）

内容：施設利用者に、果物やお菓子などの買い物を体験してもらい、届いたお菓子を「3時のおやつ」として提供します。

日時：2月28日（木）10時～

会場：薦野公民館（古賀市薦野 1369-4）

内容：地域の人が参加するリフレッシュ体操の参加者に体験してもらいます。購入した商品は、体操教室を楽しむ間に届けて、帰宅時に持ち帰ってもらいます。

※当日撮影許可済。利用者のインタビュー可。

■主催 スマートアグリビレッジおの推進協議会

小野地区でスマート農業技術の普及とデジタル活用による生活支援を目的に、小野地区の農業者や九州産業大学の研究者、市社会福祉協議会などを構成員とする任意団体として、令和5年3月に設立

今年度は、NTT コミュニケーションズ株式会社に実証業務を委託し、リモコン式自走式草刈機や農業センサーなどスマート農業の実証業務やスマホ教室などデジタル活用支援を実施。

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：中田、松尾

電話：092-942-1140

メール：nousei@city.koga.fukuoka.jp